



## 亀下区 自治会役員の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

**2月20日 亀下区の皆さん9名の方に参加していただき、住民原子力懇談会を実施しました。**

**日本原電の施設を見学し、東日本大震災の被害やその後の対応について、村の防災体制も含め、活発な議論が行われました。**

### <住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、原子力安全に関する村や事業所の取組をお伝えするとともに、「安全・安心なまちづくり」に反映するため、住民の皆さんのご意見やご要望を伺うことを目的に、20年度から行っているものです。

平成23年3月11日に起きた東日本大震災による原子力発電所への影響と今後の安全対策について、現場見学を含め、活発な質疑応答が行われました。

見学会では、津波の影響で停止した海水ポンプとその周辺や、福島第一原子力発電所の事故を教訓に増やされた電源車やポンプ車・ホース車を確認しました。対策だけでなく、その内容を村民に伝える努力が必要との意見が亀下区の皆さんから出されました。

原子力対策課に対しては、津波や避難の広報が不十分であった点、避難所運営の問題点など、村の防災体制への厳しいご意見が出ました。村は、防災体制強化の取り組みや住民の皆さんの協力の必要性を説明しました。

なお、今回の懇談会には経済産業省原子力安全・保安院東海・大洗保安検査官事務所の所長、文部科学省茨城原子力安全管理事務所の原子力保安検査官も同席し、村民の声を聞いていただきました。



### <亀下区 住民原子力懇談会 実施概要>

**平成24年2月20日（月）13時～16時45分**

**見学会**（参加者：9名）13時～15時00分

テラパーク内で概要説明を受ける

日本原電の被災・復旧状況見学

津波被害を受けた海水ポンプエリア

震災以後強化された電源関係設備など

**懇談会**（参加者：9名）15時05分～16時45分

白方コミュニティセンター 会議室